副 産 物 情 勢

12月12日 更新　　Ｊ Ａ全農ミ ートフーズ株式会社

項 目		内 容
内臓	1.国産牛	○ 10月の成牛と畜頭数は、96.0千頭(前年比104.7%)と前年を上回った。 内訳を見ると、和牛:44.4千頭(前年比109.8%)、交雑牛:22.4千頭(同102.6%)、乳牛去勢:11.1千頭(同102.9%)となった。 ○ 11月の成牛と畜頭数は、速報値(11月30日まで集計)で105.5千頭(前年比95.0%)と前年を下回る見込みとなった。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(11月28日公表)によると、11月の出荷頭数は、全品種で減少が見込まれることから、前年を下回ると予測し、 12月は、乳用種での出荷頭数の減少するものの、和牛、交雑種の増加が見込まれることから前年同月を上回ると予測する。 (11月 108.5千頭(前年比97.3%)、12月 105.4千頭(同106.4%))。 ○ 需 給 動 向 ：外食やECサイト等の需要が伸びており、出荷頭数が増加しているなかでも堅調な荷動きが続いている。 但し、シマ腸は安価な輸入原料に一部のユーザーが切替をする等の動きが出ており、若干落ち着きを見せ始めている。
	2.国産豚	○ 10月の全国豚と畜頭数は、1,437千頭と前年を上回った(前年比103.3%)。 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道104.5%、東北103.6%、関東104.3%、北陸甲信越105.7%、東海100.9%、近畿95.7%、中四国103.4%、九州・沖縄102.4% ○ 11月の全国と畜頭数は、1,491千頭(速報値11月30日まで集計、前年比100.5%)と前年並みの見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年より1日多く、1日当たりの平均と畜頭数は70,976頭(前年実績:74,190頭/日、前年差▲3,214頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;11月24日付け)によると、12月;1,484千頭(前年比102%)、令和6年1月;1,420千頭(同103%)、2月;1,319千頭(同101%)、 3月:1,420千頭(同97%)、4月:1,409千頭(同106%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約101%と前年並み。 ○ 需 給 動 向 ：肉フェス等の催事でホルモン焼きやモツ煮込みの需要が増加しており、値ごろ感のある豚内臓を求めるユーザーのすそ野は拡大傾向である。 出荷頭数が回復基調にあるなかでも全体的に堅調な荷動きが続いており、特に豚レバーはCVS加工品向けに輸入原料の使用も拡大している。
	3.輸入牛	○ 10月の輸入通関実績は、全体で40.3千ﾄﾝと前年を下回った(前年比82.9%、前月比108.8%)。 内訳ではチルド:16.8千トン(前年比115.3%、前月比109.4%)、フローズン:23.5千ﾄﾝ(前年比69.1%、前月比108.4%)となった。 輸入相手国別では、チルドは豪州が増加し、フローズンは全体的に減少した。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドの輸入量は、11月は国内需要の低迷のほか現地相場高騰により米国産輸入量が少ないため前年同月を下回り、12月は需要の低迷に加え豪州産輸入量増加のため上回ると見込んでいる。フローズンは、国内の輸入品在庫量が多く、現地相場の高騰により北米産輸入量が少ないため、11月、12月ともに前年を下回ると見込んでいる。3か月平均でも、チルド、フローズンともに下回ると見込んでいる。 令和5年11月　　合計:35.6千ﾄﾝ(前年比90.3%)、チルド:15.1千ﾄﾝ(同85.7%)、フローズン:20.5千ﾄﾝ(同94.1%) 令和5年12月　　合計:36.4千ﾄﾝ(前年比97.2%)、チルド:15.7千ﾄﾝ(同101.7%)、フローズン:20.7千ﾄﾝ(同94.2%) ○ 輸入牛内臓実績(令和5年10月): 牛腸(冷凍)　;1,170.3ﾄﾝ(前年比80.5%・前月比122.3%)　国別実績;米国840.9ﾄﾝ、カナダ149.4ﾄﾝ、メキシコ114.9ﾄﾝ、豪州53.9ﾄﾝ、スペイン6.6ﾄﾝ、ニカラグア4.6ﾄﾝ 牛レバー(冷凍);94.0ﾄﾝ(前年比121.7%・前月比113.6%)　国別実績;米国60.5ﾄﾝ、豪州23.6ﾄﾝ、メキシコ9.9ﾄﾝ
原皮	1.牛原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 5 年 10 月) : 47,947枚(前年比128.3%、前月比114.5%) 国別実績;タイ34,052枚(前年比212.0%)、韓国6,745枚(同89.5%)、ベトナム4,850枚(同38.6%)、フィリピン2,300枚(同191.7%) 輸出平均価格(令和5年10月): 2,293円/枚(前年差△280円、前月差＋84円) ○ 輸 入 実 績 (令 和 5 年 10 月) : 牛大判皮32,087枚(前年比101.2%、前月比187.2%)、ウェットブルー16,074枚※(同221.7%、同141.3%)　※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和5年10月): 牛大判皮8,215円/枚(前年差△228円、前月差＋112円)、ウェットブルー7,789円/枚(同△2,529円、同＋36円) ○ 海 外 情 勢 ：世界的な経済不安や製造段階での諸経費増高等により安価なモノを求める傾向が強い。今後も厳しい状況が続くことが想定される。 ○ 国 内 情 勢 ：皮革製品マーケットの縮小に加えて、タンナーの人手不足・高齢化等により品質低級原皮の荷動きが非常に悪い。
	2.豚原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 5 年 10 月) : 940,366枚(前年比84.6%、前月比89.3%) 国別実績;タイ771,966枚(前年比89.1%)、カンボジア108,800枚(同93.2%)、韓国34,800枚(同84.5%)、ベトナム24,800枚(同28.7%) 輸出平均価格(令和5年10月): 341円/枚(前年差△72円、前月差＋14円) ○ 需 給 動 向 ：中国や欧州での製品需要の伸び悩み、海外タンナーの在庫積み増し等はあるようだが、日本産原皮は滞留なく出荷されており、前月に比べて各国の輸出価格は上昇した。 12-1月の出荷は中国の春節(長期休暇)を控えているため、海外タンナーから足元を見られた価格提示を受ける可能性がある。
レンダリング	1．油脂等	○ 国 産 食 用 加 工 油 脂 向 け 価 格 (11 月 渡 し) : 牛脂145円/kg(前年差△50円、前月差±0円)、豚脂155円/kg(同△35円、同±0円) 牛脂は、大手ファーストフードがパーム油比較の割安感から牛脂の配合割合を引き上げたことや石鹸向け需要の回復等により一定の引き締まりがみられる。 豚脂は、強いタイト感から減退している。大幅な緩みには至っておらず、加工油脂メーカーは既存ユーザーへの安定供給を第一に進めている。 ○ マ レ ー シ ア 産 パ ー ム 油 相 場 (10 月) : 148円/kg(前年差△20円、前月差△1円) 10月生産量は194万トン(前月比105.9%)、輸出量は147万トン(同121.0%)、月末在庫は245万トン(同105.8%)となった。 輸出需要は中国の国慶節向け等で大きく伸長したが、在庫は4年ぶりの高水準。乾燥天候への懸念等が下支えして、今後の底堅い展開が予想される。 ○ 関 東 飼 料 用 油 脂 (11 月) : 124円/kg(前年差△30円、前月差±0円) ○ 工 業 用 油 脂 (11 月) : 95円/kg(前年差△30円、前月差±0円) ○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(11月): 123円～126円/kgあたり(前年差△20円、前月差±0円)

備　考

1.東京市場内臓価格　　単位:円/枝肉kg

価格改定年月日	牛内臓	豚内臓
令和3年4月 1日	35	7
令和3年4月 26日	25	5
令和3年10月 18日	35	7
令和4年2月7日	25	5
令和4年4月4日	35	7
令和4年8月8日	45	9

※乳牛も同様45円/kg　　＊豚正貫物

2.大阪市場内臓価格　　単位:円/枝肉kg

価格改定年月日	牛内臓	豚内臓
令和3年3月 11日	35	4
令和3年4月19日	25	3
令和3年10月 15日	35	4
令和4年2月1日	25	4
令和4年3月28日	35	4
令和4年8月1日	45	5

3.東京市場原皮価格　＊交雑牛含む　　単位:円/枚

価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮
令和元年7月22日	700	10
令和2年3月16日	500	10
令和2年6月15日	100	10
令和2年7月20日	100	2
令和2年9月28日	10	2
令和3年5月24日	10	10
令和5年10月16日	10	2

4.大阪市場原皮価格　＊交雑牛含む　　単位:円/枚

価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮
令和元年8月15日	1,000	10
令和2年3月16日	800	10
令和2年6月22日	300	10
令和2年7月27日	300	2
令和2年9月28日	10	2
令和3年6月1日	10	10
令和5年10月23日	10	2

5. 食用加工油脂価格　　単位:円/kg

価格改定年月日	牛脂	豚脂
令和4年3月1日	155	150
令和4年4月1日	175	170
令和4年7月1日	195	190
令和5年1月1日	175	175
令和5年4月1日	165	175
令和5年7月1日	155	165
令和5年10月1日	145	155